

2024年度 第4回運用容量検討会 議事録（案）

1.日 時：2025年2月12日13：10～13：40

2.場 所：Web 開催

3.出席者

藪野 成人	北海道電力ネットワーク（株）	工務部系統運用グループリーダー
佐藤 匡美	東北電力ネットワーク（株）	電力システム部給電グループ課長
中村 義和	東京電力パワーグリッド（株）	系統運用部系統運用計画グループマネージャー
阿知和大和	中部電力パワーグリッド（株）	系統運用部系統技術グループ課長
清水 康広	北陸電力送配電（株）	電力流通部系統運用・保護チーム統括課長
吉田 貴之	関西電力送配電（株）	系統運用部系統技術グループチーフマネージャー
首藤 隆徳	中国電力ネットワーク（株）	系統運用部系統技術グループマネージャー
大西 健介	四国電力送配電（株）	系統運用部給電グループリーダー
江口 貴之	九州電力送配電（株）	系統技術本部電力品質グループ長
下形 竜也	電源開発送変電ネットワーク（株）	変電・系統技術部系統技術グループリーダー

4.議 事

(1) 2025～2034年度の年間・長期運用容量の算出結果取り纏めについて

5.配布資料

資料 1-1 2025～2034年度の連系線の運用容量（年間・長期）
資料 1-2 各連系線の運用容量算出方法・結果
資料 1-3 設備停止時の運用容量について
資料 1-4 相馬双葉幹線接続変更および常磐幹線丸森開閉所引込み期間中の運用容量について

6.議事録 [◎一送、○広域]

議題1：2025～2034年度の年間・長期運用容量の算出結果取り纏めについて

事務局から資料1-1～1-4について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

(資料1-1) 2025～2034年度の連系線の運用容量(年間・長期)

・資料に対するご意見なし

(資料1-2) 各連系線の運用容量算出方法・結果

●：資料1-1は、各連系線の運用容量算出結果等を集約したものである。

今年度の2025～2034年度の運用容量(年間・長期)算出において、昨年度から算出方法を見直した事項は、以下のとおり。

(1) 中地域交流ループの運用容量算出結果の反映

中地域交流ループが2026年度(2か年目)に運用開始することとなるため、各月の平日休日昼間夜間の運用容量算出結果を反映した。

(2) 負荷制限量を織込んだ運用容量算出方法(対象連系線：中部関西間連系線、中国九州間連系線)

第4回 将来の運用容量等の在り方に関する作業会で負荷制限量の在るべき姿と個別連系線(中部関西間連系線、中国九州間連系線)の検討状況が整理されたことから、算出方法を見直した。

(資料1-3) 設備停止時の運用容量について

・資料に対するご意見なし

(資料1-4) 相馬双葉幹線接続変更および常磐幹線丸森開閉所引込み期間中の運用容量について

・資料に対するご意見なし

これらの資料について、2025年3月1日公表に向け、広域機関にて手続きを進める。

以 上